

80号の特集は・・・

「平塚の寺子屋 ～金目編～」

—2、3ページ

K太の「ちょっと良いですか？」コーナーは、
「特別整理休館って何!？」



—4ページ—



としよかん
きいぷ
情報誌



平塚の寺子屋（金目）

金目地区は、昔から教育熱心な所であり、幕末には二宮尊徳にのみやそんとくの高弟・福住正兄ふくすみまさえを生み、明治になってからは、自由民権運動の一大拠点となり、また現在の県立平塚農業高等学校の前身である「三郡共立学校」さんぐんを設立し、さらに明治41年（1908年）には、県下でも古い図書館の一つである「金目村通俗図書館」を設立・開館したことからも知ることができます。まさに「金目」は、平塚の文化発祥の地であるといっても過言ではありません。この教育熱心な金目地区の寺子屋について以下ご紹介していきます。

1. 郁文堂いくぶんどう

師匠は、小林晋斎しんさいで越中富山藩士・小林蓬斎ほうさいの弟。江戸にて勉強し、幕末に南金目村有志によって招かれ、南金目根下に私塾「郁文堂」を開校。漢学を中心に教えていたが、明治5年（1872年）頃閉校。門弟には、自由民権運動で大活躍した猪俣道之輔いのまたみちのすけや宮田寅治とらじなどがいました。晋斎は、学制頒布後も小学校教師として勤務していました。南金目の寂静寺じゃくじょうじに墓碑があります。

2. ^{せいせんだう}清泉堂

師匠は、柳川^{もくうえもん}奎右衛門。文久3年（1863年）北金目の不動院門前で寺子屋「清泉堂」を開校。明治5年（1872年）の生徒数は、男98名、女38名を数えていたが翌年閉校。奎右衛門は、学制頒布後も小学校教師として勤務していました。

その他『かなひ（金目）の歴史ガイドブック』によれば、北金目に^{えんきょう}延享年間（1744～47年）に不動院に寺子屋（師匠は^{たいはん}泰範）があり、南金目には文政と天保の頃（1818～43年）に寺子屋がありました。師匠は、森文右衛門と千賀桐陰でした。さらに、広川には、明治元年～6年（1868～73年）にかけて「^{おんちかん}温知館」があり、師匠は^{ぜんぶくじ}善福寺住職でした。

（参考文献）

『神奈川の寺子屋地図』	神奈川新聞社	1993年
『平塚市史』9通史編	平塚市	1990年
『図説平塚の歴史』上	郷土出版社	1994年
『かなひ（金目）の歴史ガイドブック』	金目まるごと博物館	2008年
『神奈川県史』別編1人物	神奈川県	1983年
『神奈川県中郡勢誌』	東京印書館史誌センター	1977年
『角川日本姓氏歴史人物大辞典』14	角川書店	1993年
「きいぷ」第70号	平塚市中央図書館	2007年



特別整理休館 って何!?



特別整理とは、「蔵書点検」を行うことです。

「蔵書点検」では図書館にあるすべての資料をチェックし、

確かに資料があるか、正しく棚にあるかを確認して

書架（本棚）を整理します。「蔵書点検」の間は休館となります。ご

不便をおかけしておりますが、ご協力をお願いいたします。



これはハンディーターミナルという
機器です。

この機器を使って資料についている
バーコードを1件ずつ読み取ります。
いわゆる‘棚卸し’と似た作業です

★ ☆特別整理休館の予定★★

中央図書館 2月23日（火）～3月 3日（水）

（この間、移動図書館あおぞら号も休みとなります）

西図書館 3月 4日（木）～3月11日（木）

※北図書館（2月19日（金）で終了）・南図書館（2月24日（水）で終了）は通常通り開館しております

※お借りになったものは平塚市の図書館（4館・あおぞら号）のどの館でもお返しいただけます

